　記載例　　　各医療機関の体制・機能に応じて、独自に作成される際の

参考にご利用ください。

**発熱患者および感染症を疑う患者受入れを行う際の**

**空間的・時間的動線分離　　実践手順**

■発熱患者と一般患者の動線分離を行う。

・受付では「発熱症状及び感染症」の有無をトリアージする。

・発熱及び感染症症状の患者に受付の段階でサージカルマスクを着⽤させる

【空間分離】

・ ⾃家⽤⾞で来院した場合に，診察までの待ち時間を⾃家⽤⾞内で待機してもらう

・発熱患者と一般患者の動線を分け、発熱患者専用の入り口や待合室を設ける。

・発熱患者の診察室を別室に設ける等　（可能であれば）

【時間分離】

・事前に電話してから受診するよう周知し、発熱患者と一般患者の診察時間を分ける。

・ 発熱患者の診療時間帯を設ける